



第102期上半期 株主通信

2016年4月1日～2016年9月30日

証券コード:4543

**特集: 外科手術の現場に日本初の使いやすさを
国内初スプレー式癒着防止材「アドスプレー®」**



(噴霧の様子はイメージです)

株主の皆様へ



代表取締役社長CEO
新宅 祐太郎

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

上半期の業績は、日本での薬価・公定価改定の影響に加え、米国の血液センター向け製品における価格改定の影響、また円高によるマイナスの影響など厳しい状況の中、カーディオロジー(心臓血管)領域の製品をはじめとするカテーテル(TIS)事業が好調に推移し、売上高は減少となりましたが、営業利益は過去最高を更新いたしました。

当社グループは2016年12月に、2018年3月期からスタートする今後5年間の中長期成長戦略を発表する予定です。これまで進めてきました、カンパニーを軸としたグローバル経営の推進やグローバル本社機能の強化、そしてガバナンス体制の整備・強化などを、その新しい成長を支える基盤とし、事業を進めてまいります。また、2018年3月期の期末決算より、国際会計基準(IFRS)を適用いたします。今後、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上および、グローバルでのルール統一による経営管理の精度向上やガバナンス強化を図ってまいります。

グローバルでの業界再編が進み、医療経済性の需要が高まるなど、環境が大きく変化している医療機器市場で、当社グループは引き続き、「世界で存在感のある企業になる」という長期目標の実現に向けて、持続的かつ収益性のある質の高い成長の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

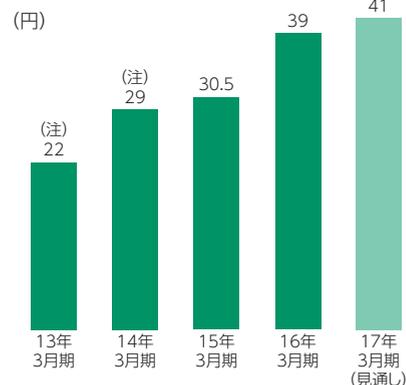
配当方針

当社は高い収益性と持続的な成長を確保するため、利益の再投資を適正かつ積極的に進め、企業価値の一層の拡大を図ってまいります。株主の皆様への利益配分につきましては、安定的かつ中長期的に配当を増やすことを目指してまいります。

当期の中間配当金は、1株につき20円といたします。また年間配当金につきましては、当中間配当金を含め、1株につき41円を予定しております。

(注)当社は、2014年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2013年3月期および2014年3月期における配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

■ 1株当たり配当金



外科手術の現場に日本初の使いやすさを 国内初スプレー式癒着防止材「アドスプレー®」

身体には傷を治癒しようとするはたらきがあります。そのため、外科手術を受けた患者さんの傷口は時間とともに塞がりますが、その治癒過程で本来離れている臓器・組織面同士がくっついてしまうことがあります。この現象を「癒着」と呼び、腹腔内や骨盤腔内などのあらゆる手術部位で50-90%という頻度で起こるといわれています※1。また、合併症として、腸閉塞や不妊症を引き起こす可能性があるため、現在では生体吸収性のフィルムまたはシート状の癒着防止材が多く使われており、臓器などの表面に貼付して使用されます。

少子高齢化が進む現代において、癒着に起因する合併症の発症リスクの軽減はとても重要視されています。長寿化が進むにつれ、一人の人が生涯で受ける手術の回数が増える可能性が高くなることが予想されますが、過去に受けた手術が原因で強い癒着が生じていると、再度手術を受ける際に、まずはその癒着をはがす必要があり、結果的に手術時間の延長や組織損傷のリスクが高くなります。また近年、



腹腔内でスプレーを噴霧している様子（噴霧の様子はイメージです）



子宮内膜症などの若年層の婦人科系疾患と、その手術件数が増加している中で、手術で起こった癒着により不妊症になる可能性もあり、結果として、さらなる少子化につながる恐れがあります。これらのリスク低減のために、癒着防止材の重要性は広く認識されています。

今回テルモは国内初のスプレー式癒着防止材を開発しました。開腹手術や腹腔鏡手術※2といった術式を問わず、臓器の裏側や深部などの処置部位に柔軟性をもってアクセスできるデザインを採用しています。2016年6月に日本での製造販売承認を取得しており、2016年度中に順次販売開始予定です。

テルモは、今後も手術後の患者さんのQOL※3向上につながる、より良い医療をお届けしてまいります。

※1 Diamond MP, et al. Clinical implications of postsurgical adhesions. Human Reproduction Update. 2001; 7 (6): 567-576

※2 腹腔鏡手術：内視鏡を腹腔内に挿入してモニターを観察しながら行う手術。医師の高度な技術が必要だが、傷口が小さくて済むため、開腹手術に比べて患者さんの身体への負担が少ない。

※3 QOL：Quality of Life（生活の質）

業績ハイライト

売上高は、前年同期比5.4%減の2,451億円となりました。

日本では、心臓血管カンパニーでカテーテル(TIS)事業およびニューロバスキュラー(脳血管)事業で販売が好調に推移しました。また、ホスピタルカンパニーでは、閉鎖式輸液システムなど輸液ラインの販売が堅調に推移し、国内売上高は前年同期比1.6%増の918億円となりました。海外では

TIS事業でアクセスデバイスおよび薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」の販売が好調に推移しましたが、円高の影響を受け、海外売上高は前年同期比9.2%減の1,533億円となりました。

営業利益は、売上総利益の減少に対し、円高の影響により販売費及び一般管理費が減少した結果、前年同期比0.7%増の394億円となりました。

2017年3月期上半期

売上高	2,451 億円
前年同期比	△5.4%
営業利益	394 億円
前年同期比	+0.7%

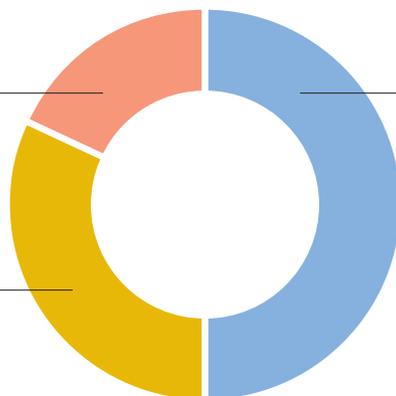
カンパニー別売上高

血液システムカンパニー

18%
452 億円
前年同期比 △14.3%

ホスピタルカンパニー

32%
782 億円
前年同期比 △3.2%



心臓血管カンパニー

50%
1,215 億円
前年同期比 △3.2%

地域別売上高

海外合計

63%
1,533 億円
前年同期比 △9.2%

欧州

19%
455 億円
前年同期比 △9.7%

米州

26%
647 億円
前年同期比 △10.2%

アジア他

18%
432 億円
前年同期比 △7.1%



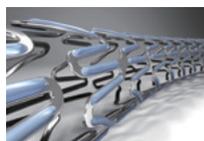
日本

37%
918 億円
前年同期比 +1.6%

カンパニー別概況

心臓血管カンパニー

日本では、心臓血管カンパニーのカテーテル(TIS)事業において、2015年10月より販売を開始した薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」の売上貢献に加えてアクセスデバイスの販売が好調に推移しました。さらに、ニューロバスキュラー(脳血管)事業も好調に推移し、公定価改定によるマイナスの影響をカバーして増収となりました。海外では、アクセスデバイスおよび「Ultimaster」の販売が好調に推移しましたが、円高の影響により、売上高は前年同期比で減収となりました。



薬剤溶出型
冠動脈ステント



アクセスデバイス



ニューロバスキュラー
マイクロカテーテル

ホスピタルカンパニー

日本では、閉鎖式輸液システムなど輸液ラインの販売が堅調に推移しましたが、薬価改定に加えて、2015年10月に富士製薬工業株式会社へ造影剤の販売を移管した影響もあり、減収となりました。海外では、欧州、中南米を中心に収益性改善に向けて低収益事業を縮小したことに加え、円高の影響も受け減収となりました。その結果、売上高は前年同期比で減収となりました。



閉鎖式輸液システム



閉鎖式抗がん剤
投与システム



ペン型注入器用注射針

血液システムカンパニー

日本では、当第2四半期以降、血液センター向け製品で顧客からの納入時期変更による影響の解消が進み、増収となりました。海外では、2016年3月期下半期に実施された米国の血液センター向け製品における価格改定の影響に加えて、各地域で円高の影響を受けました。その結果、売上高は前年同期比で減収となりました。



成分採血システム



細胞増殖システム



血液自動製剤化
システム

2017年3月期見通し

上半期は、TIS事業を中心とした高収益品が拡大したことにより、円高の影響を乗り越え、営業利益は過去最高を達成しました。

今期は、為替の影響を大きく受け、売上高・営業利益・経常利益において減収減益を見込んでいます。下半期には、さらなる円高の進行が予想されますが、TIS事業を中心に心臓血管カンパニーが引き続き好調を維持することで、売上高および営業利益は期初の予想を据え置きます。一方、経常利益と純利益*においては、為替の影響に加え、2016年6月に発表した新しい

脳動脈瘤用塞栓デバイスの米国Sequent Medical社の買収に伴う費用を考慮し、予想を修正することとしました。

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益*
従来予想	5,170	750	710	525
今回修正予想	5,170	750	650	475
修正額	—	—	△60	△50

為替レート 下期 USD=105円、EUR=115円
通期 USD=105円、EUR=116円

*親会社株主に帰属する当期純利益

お知らせ

テルモメディカルプラネックス®にご招待!

医療現場を再現した設備を備え、カテーテルなどの高度な医療技術の習得や医師・看護師のチーム連携強化など、多彩なトレーニングを行うことができるテルモメディカルプラネックス。手技の疑似体験や、製品に触れていただける機会です。また、例年ご要望をいただく子供向けのメディカルスクールも開催します。お子様、お孫様が楽しんで医療に触れ合える場となります。奮ってご応募ください。



Aコース
60名様ご招待

2017年 3月10日(金) 13:00~17:00

プラネックス見学会
株主様ご本人

Bコース
ペア30組
60名様ご招待

2017年 3月11日(土) 13:00~17:00

キッズメディカルスクール
~子供向けプログラム~
株主様+お子様またはお孫様(1名)

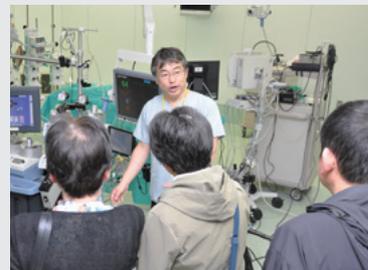
見学場所：テルモメディカルプラネックス(神奈川県足柄上郡中井町)

参加費：無料(現地までの往復交通費は株主様のご負担とさせていただきます)

集合時間・場所：13時 小田急線秦野駅、またはJR二宮駅(送迎バス有)※見学場所へのお車でのご来場はご遠慮ください。

応募要項

- 応募方法…………… 同封の応募ハガキにてご応募ください。
ご希望者多数の場合は抽選となります。抽選結果は、2017年2月上旬頃郵送にてお知らせいたします。
- 応募締切日…………… 2017年1月13日(金)(当日消印有効)
- ご参加対象…………… Aコース：株主様ご本人
Bコース：株主様ご本人+お子様またはお孫様(1名)
なお、お子様またはお孫様は、小学4年生~中学2年生とさせていただきます。
- ご注意…………… 見学時間は2時間程度で、徒歩、階段での昇り降りが多くございます。
- お問い合わせ先…………… 電話：03-6742-8500 [受付時間] 9:00~17:45
(土日祝および12月28日~1月4日の休業日を除く)



見学ツアーの様子

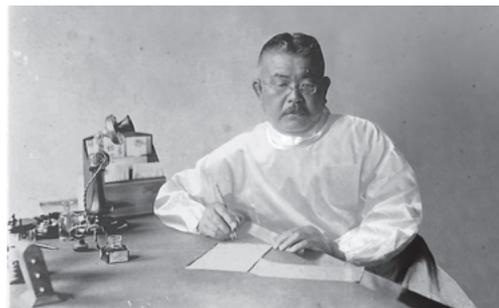
株式についてのご案内

- ◎事業年度 4月1日から3月31日まで
- ◎株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◎同連絡先(郵便物送付・電話照会)
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
電話：0120-232-711(フリーダイヤル)
- ◎単元株式数 100株

テルモ株式会社(証券コード：4543)
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷二丁目44番1号
電話：03-3374-8111(代表) <http://www.terumo.co.jp/>

TERUMO、Ad#Sprayはテルモ(株)の商標です。
テルモ、アドスプレー、Ultimaster、テルモメディカルプラネックスは
テルモ(株)の登録商標です。

©テルモ株式会社 2016年12月



北里柴三郎博士(資料提供：学校法人北里研究所)

テルモは、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するために、北里柴三郎博士をはじめとする医師らが発起人となり、1921年に設立されました。

